株式会社ベルーナ
2027年3月期（中間期）
決算説明会資料

証券コード：東証プライム　9997

2026.11.26



洞爺サンパレスリゾート＆スパ

目次

BELLUNA

1. 決算ハイライト P.2

2. 今期計画、第6次短期経営計画の進捗状況について P.9

3. 各事業について P.11

4. 株主還元について P.25

5. 情報セキュリティへの対応について P.27

6. 参考資料 P.29

1. 決算ハイライト

1-1. 決算総括

BELLUNA

単位：億円

連結	26/3期 中間期	27/3期 中間期	27/3期 中間期		
	実績	予算	実績	前年比	予算比
売上高	979.9	1,000.0	1,018.0	+3.9%	+1.8%
売上原価	362.2	-	359.9	-0.6%	-
販売管理費	568.9	-	604.5	+6.3%	-
営業利益	48.7	54.0	53.5	+9.8%	-0.9%
営業外損益	-3.7	-7.0	-5.6	-	-
（内、為替関連損益）	(5.5)	-	(-1.0)	-	-
経常利益	44.9	47.0	47.8	+6.4%	+1.8%
当期純利益	33.2	35.0	35.0	+5.4%	+0.2%

1-2. セグメント別損益

BELLUNA

売上高　　プロパティ・ホテル、グルメ、データベース活用の3セグメントが増収
営業利益　プロパティ・ホテル、グルメ、呉服関連、アパレル・雑貨、その他、データベース活用の6セグメントが増益

■プロパティ・ホテルは、国内都市型ホテルにおいては、関西エリアのホテルが前年同期間に開催された大阪万博による宿泊特需の反動によりRevPARが低下しましたが、北海道及び東京エリアの高価格帯ホテルのRevPARが上昇したことや、新規開業したホテルが売上に寄与したことなどにより増収増益となりました。国内リゾート型ホテルにおいては、前年同期間に未取得であったホテル瑞鳳、秋保グランドホテル及び屈斜路プリンスホテルの売上が寄与したことや北海道エリアの全てのホテルにおけるRevPARの上昇などにより増収増益となりました。日中関係の緊張に伴い中国人宿泊者数は減少したものの一方で、韓国や台湾、欧米などからの宿泊者数が増加したことにより、その影響は限定的でした。

■化粧品健康食品は、新規顧客の獲得数は前年同期比で増加したものの、新規購入者の定期継続率の低下や広告宣伝費の増加に加え、海外事業における在庫適正化に向けた施策により減収減益となりました。健康食品通販事業においては、新規顧客の獲得件数及び獲得効率の改善が不十分であったことに加え、商品仕入原価の高騰の影響により減収減益となりました。

■アパレル・雑貨は、各種コストの高止まりを受け、引き続き収益性の改善に注力しました。紙媒体の発行数量を減らすなど広告宣伝費の抑制を図ったことなどによりわずかに減収となりましたが、ネットによる集客を強化したことにより新規顧客の獲得効率が改善したことや在庫の適正化が進みディスカウント販売等が減少したことなどにより収益性は大幅に改善しました。

セグメント別売上高と営業利益

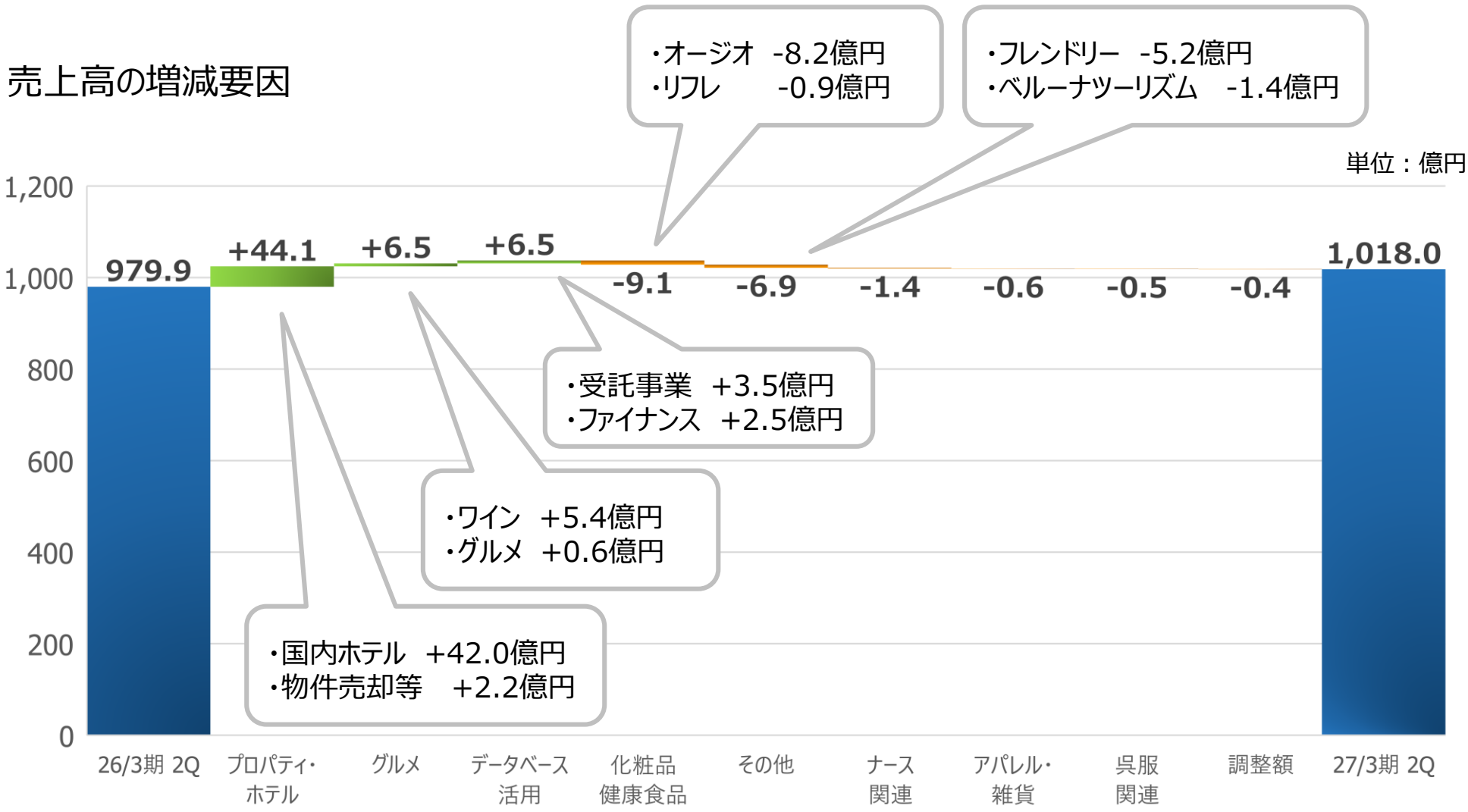
単位：億円

	27/3期 中間期												
	グロース領域						サステナブル領域						
	プロパティ・ホテル	専門通販			小計	小計	呉服関連	アパレル・雑貨	その他	小計	データベース活用	調整	計
		化粧品健康食品	グルメ	ナース関連									
売上高	238.0	49.7	126.8	62.0	238.5	476.6	94.4	321.9	24.5	441.0	107.7	-7.4	1,018.0
前年比（%）	+22.8%	-15.5%	+5.5%	-2.2%	-1.6%	+9.2%	-0.5%	-0.2%	-22.1%	-1.8%	+6.4%	+6.9%	+3.9%
営業利益	35.1	0.4	0.2	3.5	4.2	39.3	-5.1	-3.3	-0.6	-9.1	23.1	0.1	53.5
前年比(億円)	+1.2	- 4.8	+0.6	- 0.1	- 4.3	- 3.1	+0.5	+5.9	+0.8	+7.3	+0.0	+0.4	+4.7
営業利益率	14.7%	0.9%	0.2%	5.8%	1.8%	8.3%	-5.4%	-1.0%	-2.6%	-2.1%	21.5%	-	5.3%
前年比(pt)	- 2.7	- 8.2	+0.5	- 0.0	- 1.8	- 1.5	+0.5	+1.8	+2.1	+1.6	- 1.3	-	+0.3

1-3. 売上高の増減分析

BELLUNA

売上高の増減要因

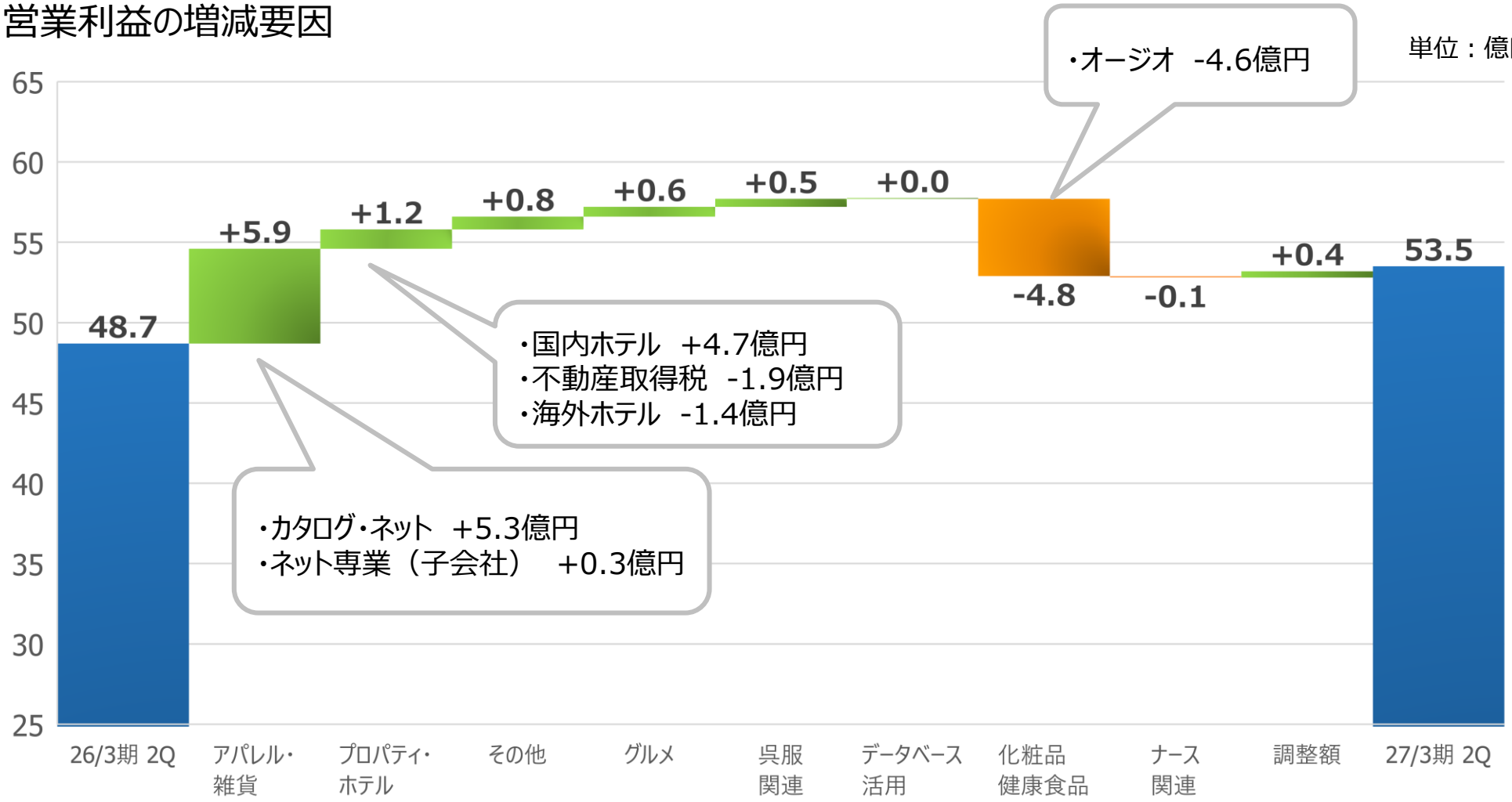


1-4. 営業利益の増減分析

BELLUNA

営業利益の増減要因

単位：億円



1-5. 連結貸借対照表

BELLUNA

単位：億円

	26/3期 期末	27/3期 2Q	増減額
流動資産	1,314.5	1,342.4	+27.8
現金及び預金	345.3	366.6	+21.3
受取手形及び売掛金	115.1	104.7	- 10.3
営業貸付金	377.5	394.3	+16.7
商品及び製品	235.6	246.2	+10.6
その他の流動資産	144.9	132.7	- 12.2
固定資産	2,086.7	2,090.7	+3.9
有形固定資産	1,728.4	1,729.8	+1.4
無形固定資産	105.6	99.7	- 5.9
投資その他の資産	252.6	261.1	+8.4
総資産	3,401.3	3,433.1	+31.7
負債	1,886.8	1,909.4	+22.6
支払手形、買掛金及び電子記録債務	109.6	110.8	+1.2
契約負債	29.9	44.0	+14.0
未払法人税等	35.9	21.7	- 14.2
未払費用	129.0	114.4	- 14.5
短期借入金	186.5	212.2	+25.6
長期借入金	1,271.7	1,283.6	+11.8
純資産	1,514.5	1,523.6	+9.1
[自己資本比率]	[44.5%]	[44.3%]	[-0.1P]

1-6. キャッシュフロー計算書

BELLUNA

単位：億円

	26/3中間期	27/3中間期	
	実績	実績	前年比
営業活動によるキャッシュフロー	40.3	54.7	14.4
税金等調整前中間純利益	51.9	55.4	3.5
減価償却費	34.3	37.7	3.4
営業貸付金の増減	-17.8	-16.5	1.3
棚卸資産の増減	-15.3	-11.6	3.6
その他流動資産の増減	21.6	17.6	-3.9
法人税及び住民税（支払額）	-26.9	-37.5	-10.5
投資活動によるキャッシュフロー	-243.2	-37.8	205.4
有形固定資産の取得による支出	-247.7	-41.6	206.1
投資有価証券の取得支出	-8.4	-10.3	-1.8
投資有価証券の売却収入	18.4	18.9	0.4
財務活動によるキャッシュフロー	219.2	9.2	-209.9
短期借入金の増減額	30.0	16.5	-13.4
長期借入金の増減額	205.7	17.6	-188.1
配当金の支払額	-13.9	-22.1	-8.1
キャッシュに係る換算差額	-1.9	-2.5	-0.6
キャッシュ増減	14.3	23.6	9.2

設備投資*1
42.3億円

減価償却費*2
39.3億円

*1: 設備投資額には、ソフトウェアなどの無形固定資産およびリース資産への投資額も含む　*2: 減価償却費には、無形固定資産関連の償却も含む

2. 今期計画、第6次短期経営計画の進捗状況について

BELLUNA

2. 今期計画、第6次短期経営計画の進捗状況

BELLUNA

第6次短期経営計画（26/3期～28/3期）を前倒し達成

今期は第6次短期経営計画の2年目。

3ヵ年計画の前倒し達成を踏まえ、2年目（27/3期）目標値を上方修正。

3年目（28/3期）目標については、当初計画値を上回る進捗状況のため、事業環境の変化やホテル業績進捗を踏まえ、検討中。

単位：億円

	第6次短期経営計画													
	26/3期 計画		26/3期 実績				27/3期 当初計画		27/3期 修正計画				28/3期 当初計画	
	売上	営業利益	売上	計画比	営業利益	計画比	売上	営業利益	売上	当初計画比	営業利益	当初計画比	売上	営業利益
ホテル	390.0	45.9	426.6	+9.4%	57.7	+25.6%	425.9	49.9	444.2	+4.3%	69.4	+39.2%	474.5	55.6
インカム・太陽光	19.0	18.3	70.4	+270.7%	27.9	+52.3%	16.5	17.1	27.8	+68.1%	20.6	+20.5%	13.2	17.0
プロパティ・ホテル事業	**409.0**	**64.3**	**497.0**	**+21.5%**	**85.5**	**+33.1%**	**442.4**	**67.0**	**472.0**	**+6.7%**	**90.0**	**+34.4%**	**487.7**	**72.6**
データベース活用事業	**179.2**	**48.3**	**179.5**	**+0.2%**	**45.1**	**-6.5%**	**194.1**	**50.8**	**218.0**	**+12.3%**	**46.0**	**-9.4%**	**211.8**	**53.4**
化粧品・健康食品事業	133.3	7.9	114.4	-14.2%	7.4	-6.6%	149.7	8.9	111.2	-25.7%	4.5	-49.5%	178.1	9.7
グルメ事業	344.6	12.7	337.4	-2.1%	13.2	+3.6%	380.5	13.8	321.9	-15.4%	15.0	+8.7%	422.7	16.1
ナース関連事業	127.8	5.4	123.0	-3.7%	6.5	+19.5%	131.8	6.4	129.5	-1.8%	7.0	+9.5%	136.7	7.0
専門通販事業	**605.7**	**26.1**	**574.8**	**-5.1%**	**27.0**	**+3.4%**	**662.0**	**29.1**	**562.5**	**-15.0%**	**26.5**	**-9.0%**	**737.4**	**32.8**
アパレル・雑貨事業	**703.5**	**-13.3**	**689.1**	**-2.1%**	**-4.1**	**-69.3%**	**741.1**	**-8.0**	**688.0**	**-7.2%**	**-3.0**	**-62.6%**	**803.2**	**-4.0**
呉服関連事業	**232.6**	**13.1**	**225.6**	**-3.0%**	**13.8**	**+4.9%**	**247.8**	**15.0**	**226.2**	**-8.7%**	**14.5**	**-3.1%**	**264.4**	**16.0**
その他の事業	**29.7**	**-2.8**	**28.4**	**-4.3%**	**-1.9**	**-33.7%**	**22.2**	**-2.9**	**58.0**	**+161.6%**	**4.0**	**-238.6%**	**26.7**	**1.0**
調整	-13.6	-0.6	-13.3	-1.7%	-0.7	+14.4%	-13.6	-0.9	-14.6	+7.6%	-3.2	+251.0%	0.0	-6.8
合計	**2,146.0**	**135.0**	**2,181.0**	**+1.6%**	**164.8**	**+22.0%**	**2,296.0**	**150.0**	**2,210.0**	**-3.7%**	**175.0**	**+16.7%**	**2,531.0**	**165.0**
ROE	**7.0%**		**7.9%**				**7.5%**		**8.5%**				**8.5%**	

3. 各事業について

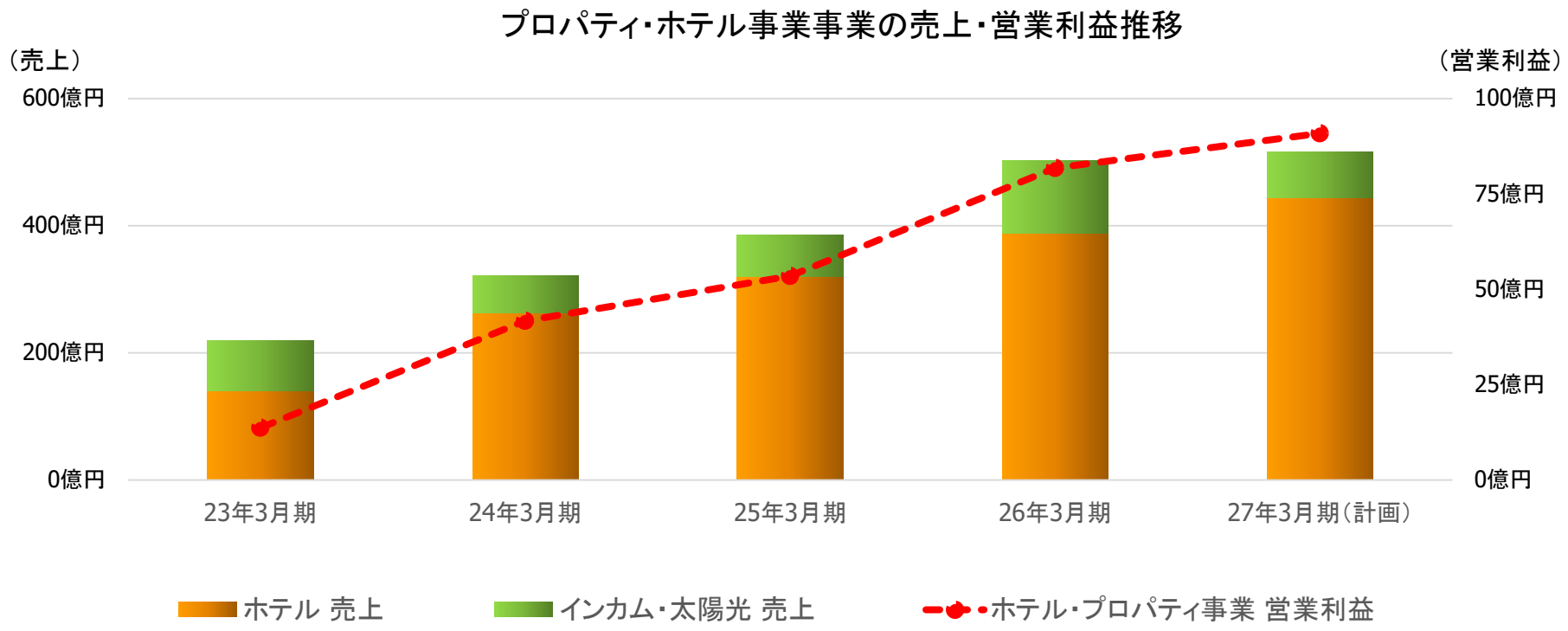
3-1. プロパティ・ホテル事業

BELLUNA

プロパティ・ホテル事業は、

27年3月期で売上高472.0億円（前期比+2.9%）、

営業利益90.0億円（前期比+9.4%）を目指す。



3-2. プロパティ・ホテル事業

BELLUNA

業績貢献の大きい第6次短計中の新設ホテルと今後の新設ホテル

地域	タイプ	施設名	部屋数	稼働時期	25年度 稼働月数	26年度 稼働月数
北海道	国内都市型	札幌ホテル by グランベル	605	2025年3月	12ヶ月	12ヶ月
北海道	国内都市型	札幌ファンゲートホテル	141	2025年4月	12ヶ月	12ヶ月
北海道	国内都市型	小樽グランベルホテル	159	2025年7月	9ヶ月	12ヶ月
宮城	国内リゾート型	ホテル瑞鳳、櫻離宮	131	2025年10月	6か月	12ヶ月
宮城	国内リゾート型	秋保グランドホテル	140	2025年10月	6か月	12ヶ月
東京	国内都市型	虎ノ門ホリックホテル	49	2026年4月	0ヶ月	12ヶ月
京都	国内都市型	京都ファンゲートホテル	31	2026年4月 ※7月ﾘﾌﾞﾗﾝﾄﾞｵｰﾌﾟﾝ	0か月	12ヶ月
北海道	国内リゾート型	屈斜路プリンスホテル	208	2026年5月	0ヶ月	11ヶ月
北海道	国内リゾート型	別邸 蝦夷富士	61	2027年12月 （予定）	-	-

3-3. プロパティ・ホテル事業

BELLUNA

一部ホテルのご紹介



札幌ホテル by グランベル


洞爺サンパレスリゾート＆スパ



虎ノ門ホリックホテル


定山渓ビューホテル

3-4. プロパティ・ホテル事業

BELLUNA

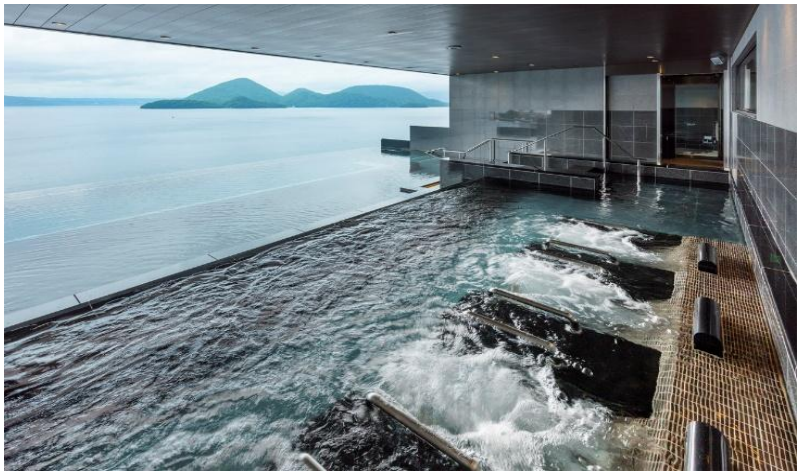
開業予定ホテルの紹介

ザ・レイクスイート湖の栖「別邸　蝦夷富士」（国内リゾート型）

2027年12月開業予定　　客室数　61室







3-5. プロパティ・ホテル事業

BELLUNA

今後の構想

・既存施設のバリューアップ

・都心ホテルの新規展開

・海外ホテルの新規展開

競争優位の確立

・全員参加型経営

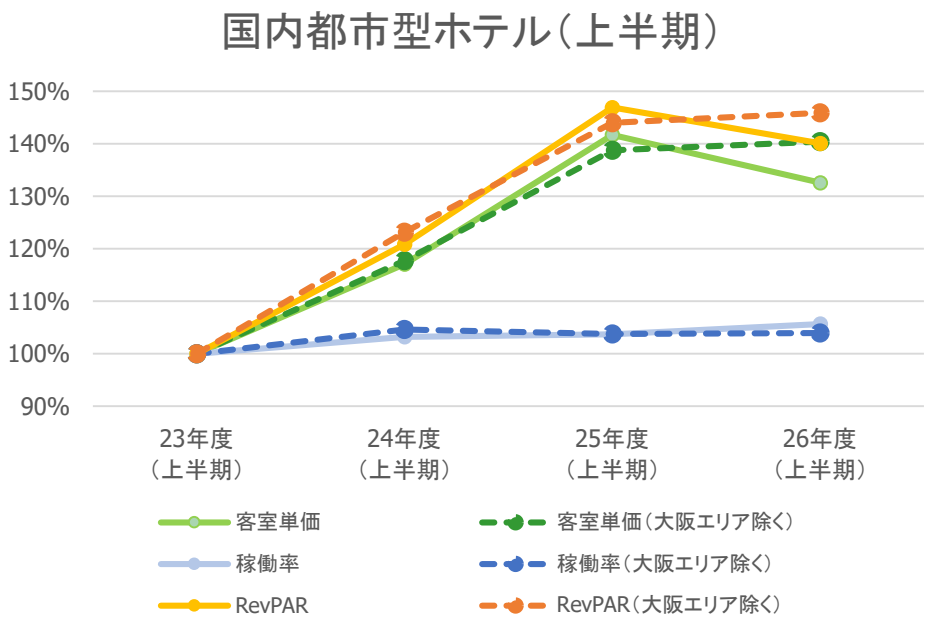
・集客の優位性

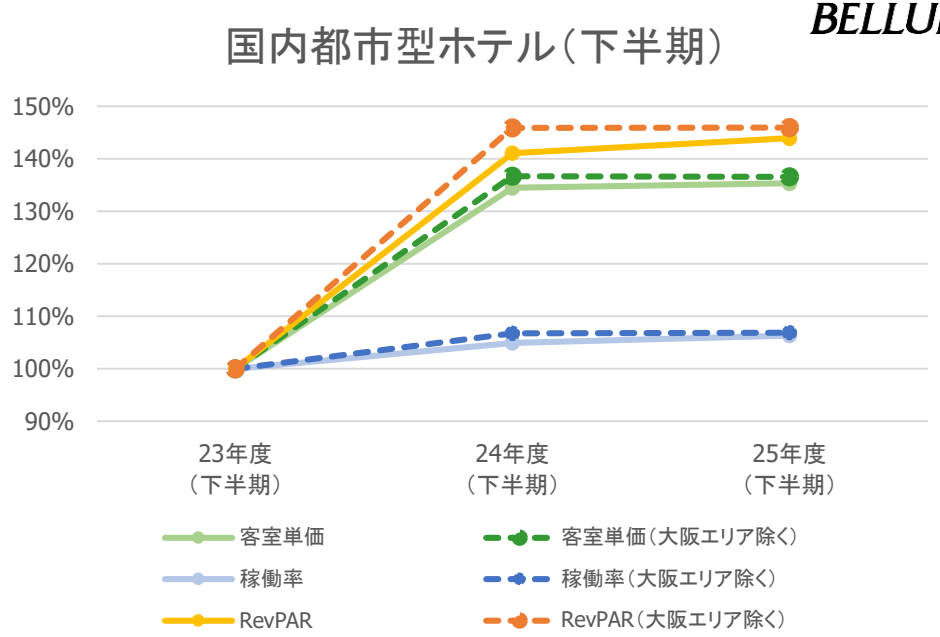
・ローコストオペレーション

・外国人人材の採用強化

3-6.（参考）【国内都市型ホテル】客室単価、稼働率、RevPARの推移

BELLUNA





※23年度実績を100%として比較

客室単価（千円）	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
23年度	15.1	17.0	18.2	17.5	17.0
24年度	18.2	19.5	23.8	24.3	21.5
25年度	22.9	22.8	25.8	22.8	23.5
26年度	21.2	21.6	-	-	-
前期対比	-7.7%	-5.2%	-	-	-
26年度（大阪エリア除く）	24.9	26.0	-	-	-
前期対比（大阪エリア除く）	+8.4%	+14.2%	-	-	-

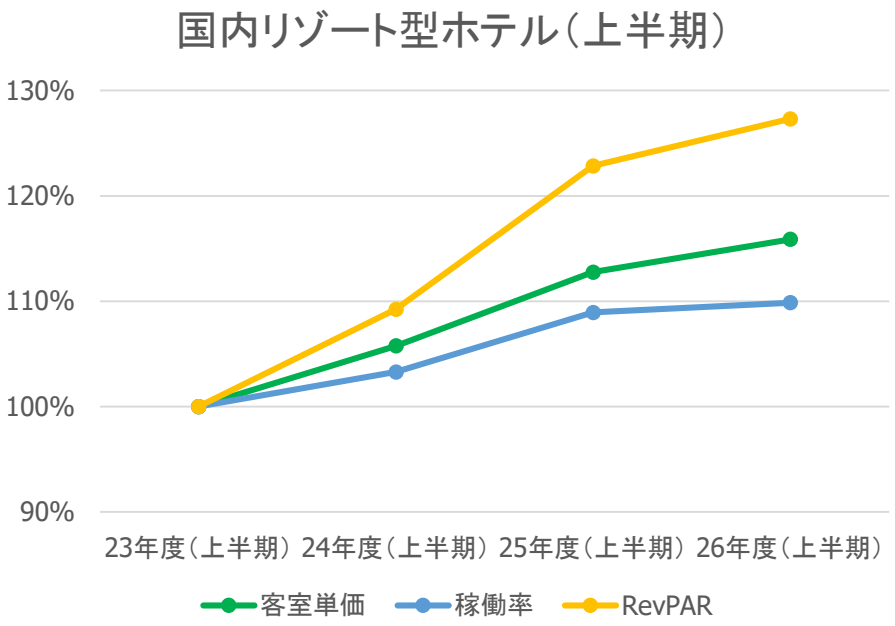
稼働率（%）	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
23年度	75.8	82.2	75.7	79.8	78.4
24年度	78.7	84.4	83.3	79.8	81.6
25年度	78.9	85.0	83.1	82.3	82.3
26年度	81.2	85.8	-	-	-
前期対比	+2.3pt	+0.8pt	-	-	-
26年度（大阪エリア除く）	77.3	84.9	-	-	-
前期対比（大阪エリア除く）	-1.6pt	-0.1pt	-	-	-

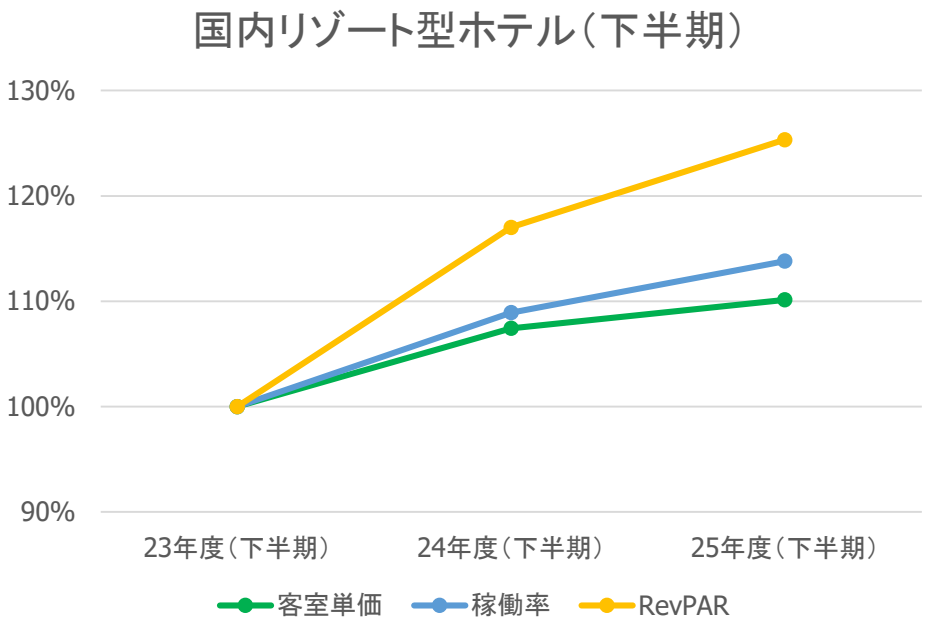
RevPAR（千円）	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
23年度	11.5	14.0	13.8	14.0	13.3
24年度	14.3	16.5	19.8	19.4	17.5
25年度	18.1	19.4	21.5	18.5	19.4
26年度	17.2	18.5	-	-	-
前期対比	-4.9%	-4.4%	-	-	-
26年度（大阪エリア除く）	19.2	22.1	-	-	-
前期対比（大阪エリア除く）	+6.2%	+14.0%	-	-	-

※同条件比較のため、既存ホテルにて対比

3-7.（参考）【国内リゾート型ホテル】客室単価、稼働率、RevPARの推移

BELLUNA





※23年度実績を100%として比較

客室単価（千円）	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
23年度	35.1	39.7	34.5	32.5	35.6
24年度	36.8	42.2	36.6	35.3	37.9
25年度	36.4	43.7	37.8	34.0	38.1
26年度	40.6	46.1	-	-	-
前期対比	+11.5%	+5.5%	-	-	-

稼働率（%）	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
23年度	47.0	64.6	55.8	61.5	57.2
24年度	48.2	67.1	60.8	67.0	60.7
25年度	54.1	67.5	62.5	71.9	64.9
26年度	52.2	70.4	-	-	-
前期対比	-1.9pt	+2.9pt	-	-	-

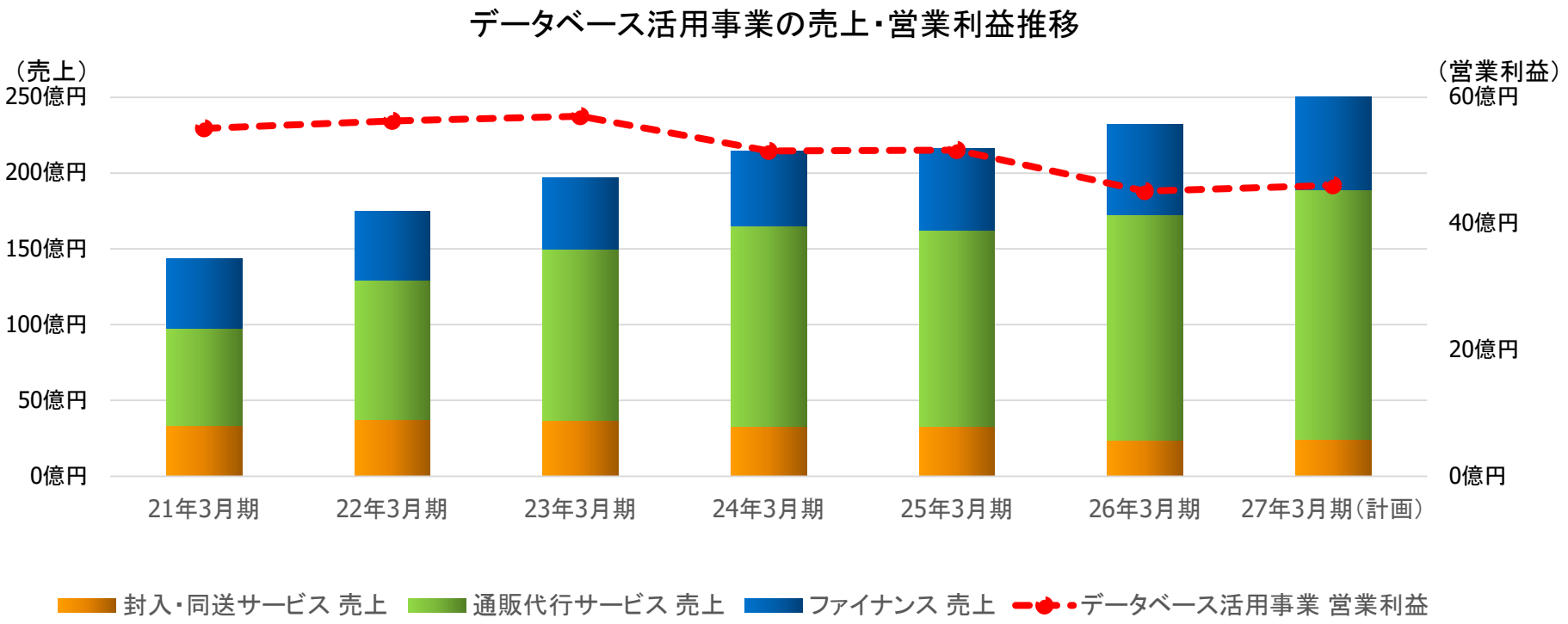
RevPAR（千円）	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
23年度	16.5	25.7	19.3	20.0	20.3
24年度	17.7	28.3	22.3	23.6	23.0
25年度	19.7	29.5	23.7	24.5	24.3
26年度	21.2	32.5	-	-	-
前期対比	+7.6%	+10.2%	-	-	-

※同条件比較のため、既存ホテルにて対比

3-8. データベース活用事業

BELLUNA

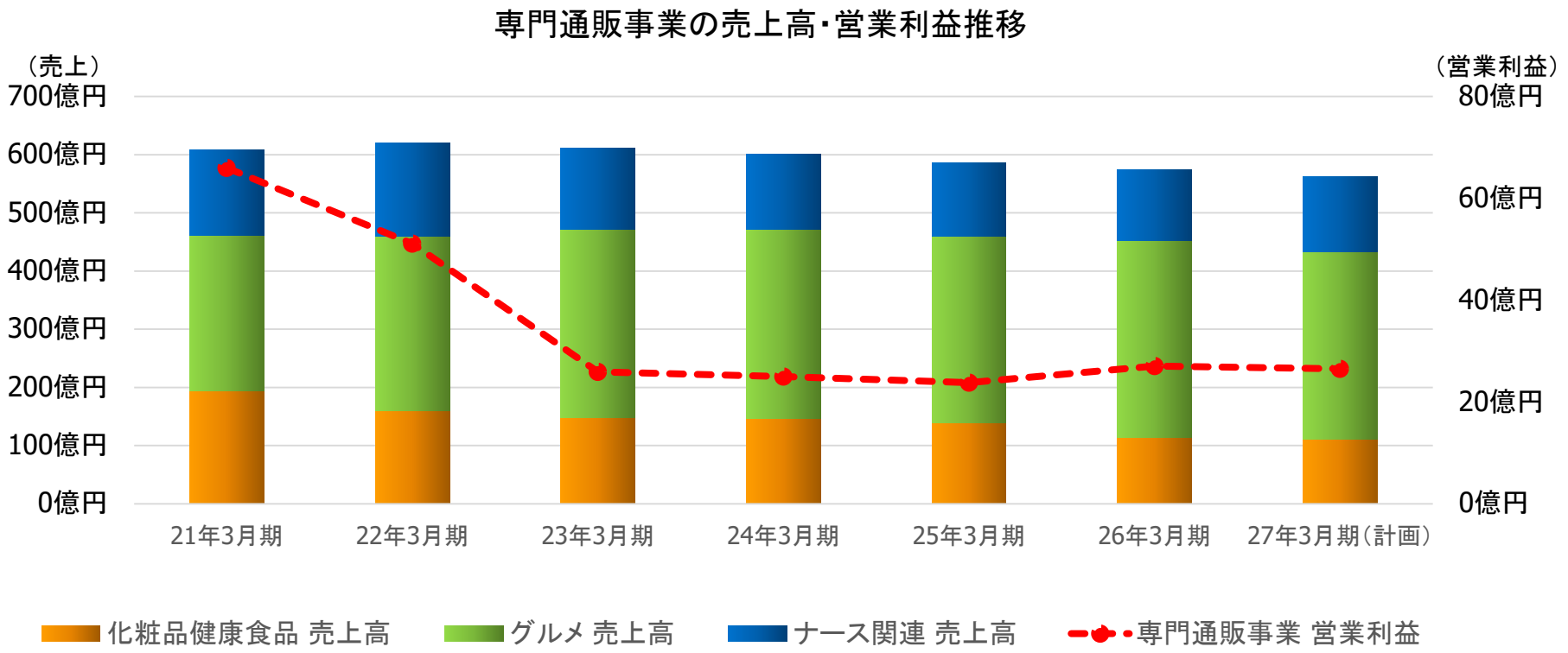
封入・同送サービスは、アパレル・雑貨事業のカタログ発行部数減、商品出荷数減に伴い、苦戦傾向。一方で通販代行サービス、ファイナンス事業は好調に推移。



3-9. 専門通販事業

BELLUNA

専門通販事業（化粧品健康食品、グルメ、ナース関連）は、
27年3月期で売上高562.5億円（前期比-2.1%）、
営業利益26.5億円（前期比-1.9%）を計画。



3-10. 専門通販事業

BELLUNA

■化粧品健康食品事業

国内化粧品通販事業において、新規顧客獲得数は増加したが、
定期継続率の低下や広告宣伝費の増加により減益。
次の柱となる新商品開発に注力し、顧客リストの新陳代謝を促し、
業績回復を目指す。



■グルメ事業

食品単品ジャンルにおいて、冷凍弁当・惣菜の販売好調。
ワイン通販事業においては、ヒット商品開発が進み、
新規顧客の獲得が好調。

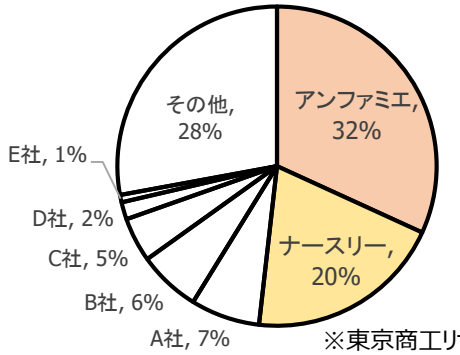




■ナース関連事業

看護師通販国内シェア52%と高い認知度を獲得。
更なるシェア拡大に加え、攻守バランスを意識したブランド別の
役割を明確化し、利益最大化を目指す。

看護師向け通販市場　マーケットシェア



※東京商工リサーチレポートより

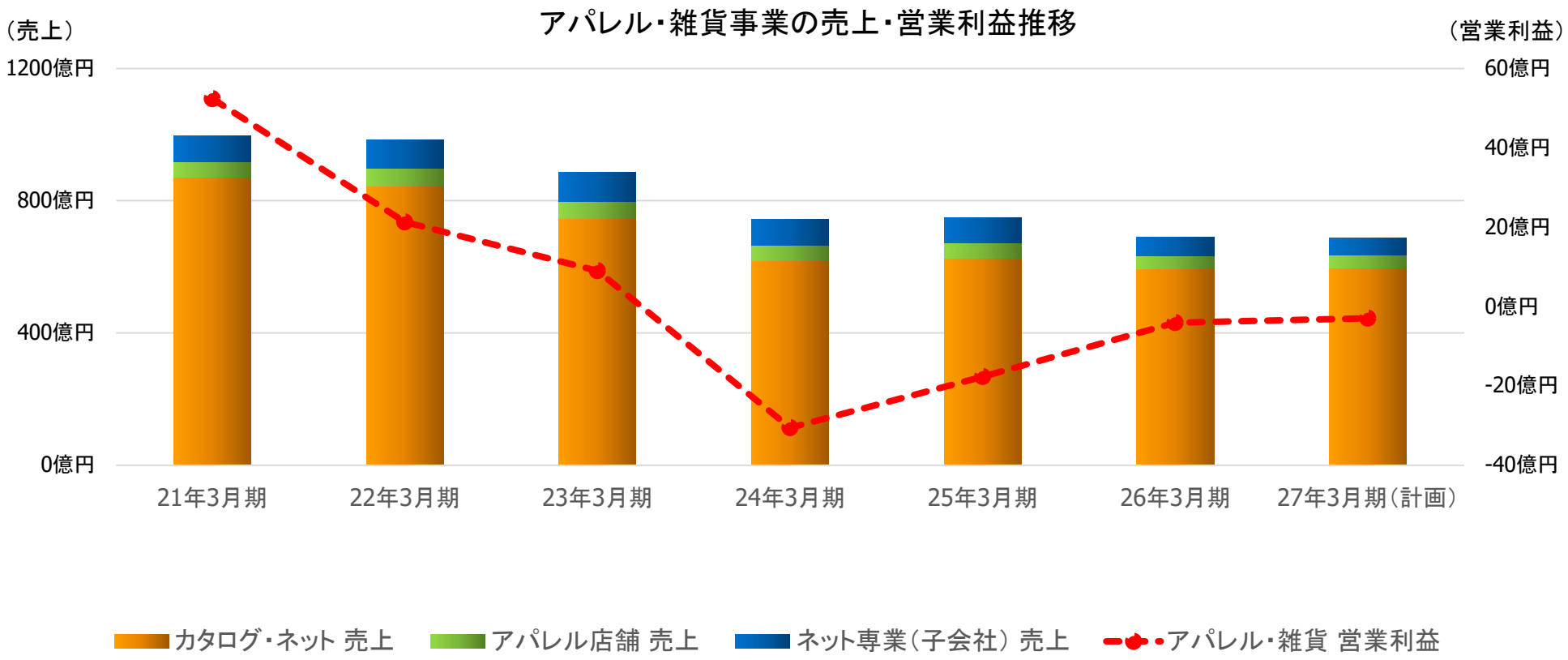
3-11. アパレル・雑貨事業

BELLUNA

アパレル・雑貨事業は、

27年3月期で売上高688.0億円（前期比▲0.2%）、

営業利益▲3.0億円（前期比+1.1億円の利益改善）を計画



3-12. アパレル・雑貨事業

BELLUNA

旧総合通販のPL前年同期比較

	26/3期　中間期	27/3期　中間期	差
売上高	274.0億円 カタログ：185億円 自社EC：58億円 外部モール：29億円	277.3億円 カタログ：176億円 自社EC：62億円 外部モール：39億円	+1.2%
粗利率	52.9%	53.9%	+1.0pt
広告宣伝費率	26.4% カタログ：32.9% EC：13.2%	25.1% カタログ：32.0% EC：13.3%	-1.3pt
その他の販管費率	29.4%	29.7%	+0.3pt
営業利益率	-2.9%	-0.9%	+2.0pt

・【カタログ】レディースアパレル苦戦の一方で、【カタログ】メンズ、【EC】レディースアパレルが売上好調

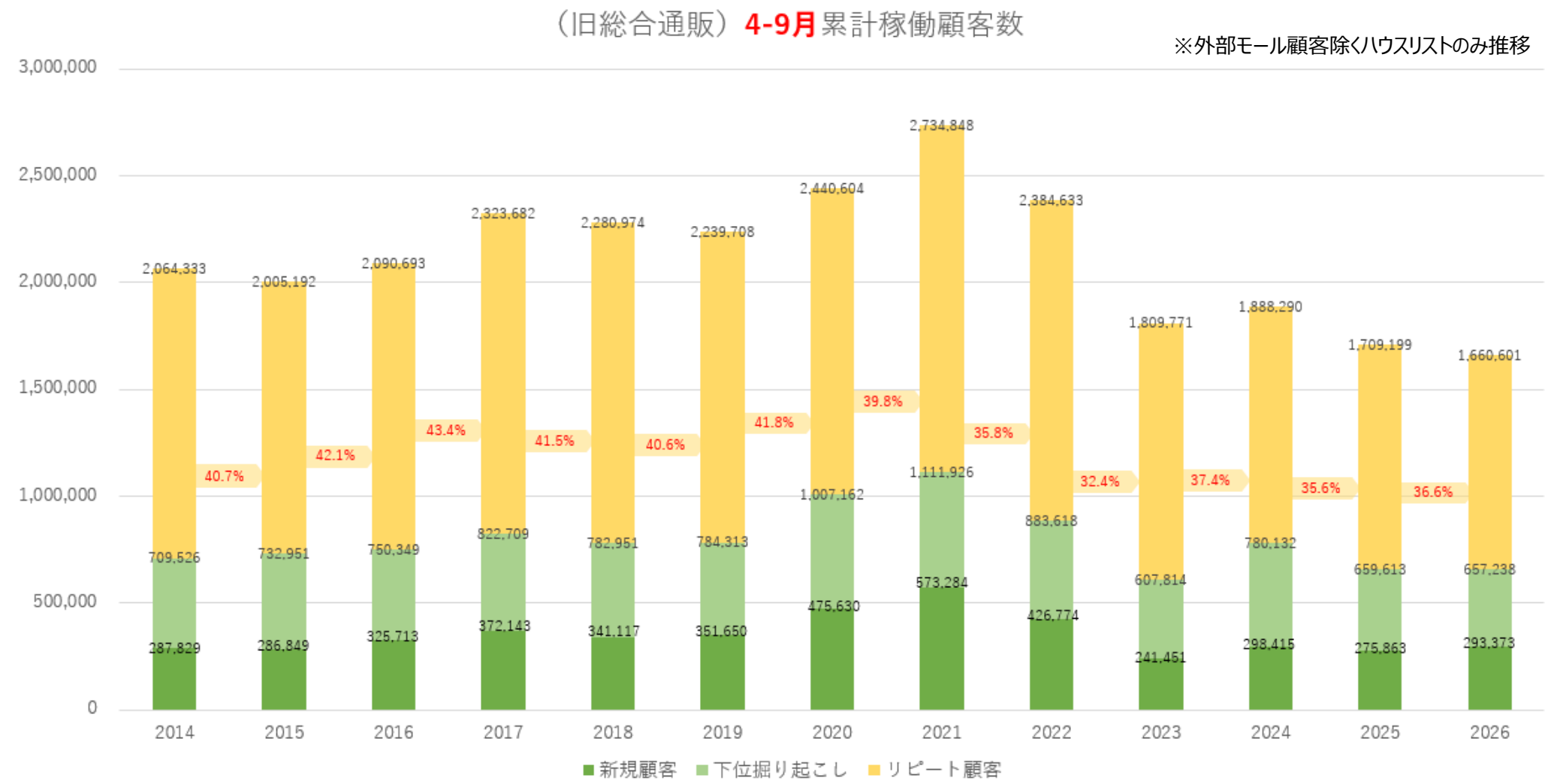
・在庫の適正化が進み、在庫回転改善。ディスカウント販売が減少したことで改善

・紙媒体の発行数量を抑制し収益性を改善させる一方、EC広告を積極展開し売上高増に繋げる

・売上高増加に伴う固定費率圧縮するも、外部モール売上増に伴う手数料増加

3-13. アパレル・雑貨事業

BELLUNA



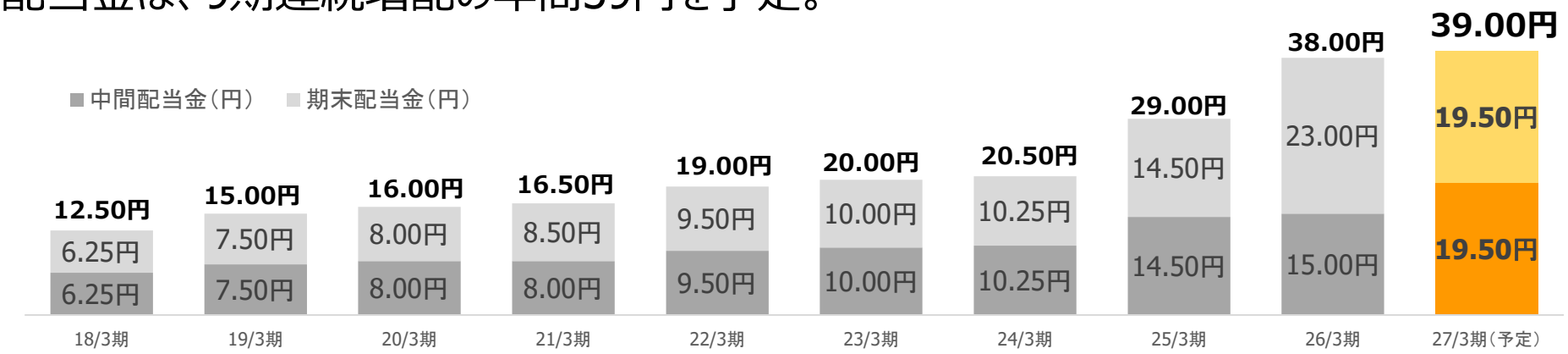
4. 株主還元について

4. 株主還元について

BELLUNA

＜配当状況＞

配当金は、9期連続増配の年間39円を予定。



	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期（予定）
EPS(円)	99.41	106.39	60.62	114.17	105.55	76.71	60.39	91.25	119.94	124.69
配当性向(%)	12.6	14.1	26.4	14.5	18.0	26.1	33.9	31.8	31.7	31.3
DOE(%)	1.4	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.5	2.0	2.5	-

＜株主優待＞

［内容］

	100株以上	500株以上	1,000株以上
通信販売優待割引券 またはベルーナネットで使用できる優待ポイント またはグルメ・ワイン・日本酒商品	1,000円分	3,000円分	5,000円分
ベルーナグループ運営（提携）施設で利用可能な券面額1,000円の優待割引券	2枚 （2,000円分）	6枚 （6,000円分）	10枚 （10,000円分）

［対象］

3月末・9月末時点で、当社株式100株以上を保有している株主様（年2回）

5. 情報セキュリティへの対応について

5. 情報セキュリティへの対応について

BELLUNA

当社は、顧客情報および事業基盤の保護を重要な経営課題と認識し、情報セキュリティ対策を継続的に強化しています。

領域	主な取組み
ガバナンス	経営層の関与、管理責任の明確化、情報セキュリティに関する定期的な状況確認
予防・防御	アクセス制限、認証・権限管理、脆弱性診断、WAF（Webアプリケーションへの不正な通信を検知・遮断する仕組み）の活用
検知・監視	ログ監視、異常検知、SOCによる24時間365日のセキュリティ監視
初動・復旧	インシデント対応手順、連絡体制の整備、バックアップ・復旧訓練
人材・サプライチェーン	従業員教育、委託先・グループ会社の管理

今後も、脅威動向やリスク評価を踏まえ、対策の実効性向上と継続的な改善に取り組みます。

6. 参考資料

6-1. 中期計画について

BELLUNA

Nine･Six･Five and One･Two･Three計画

Nine：プロパティ事業　営業利益90億円

Six：データベース活用事業　営業利益60億円

Five：専門通販事業　営業利益50億円

One：アパレル･雑貨事業　営業利益20億円

Two：呉服関連事業　営業利益25億円

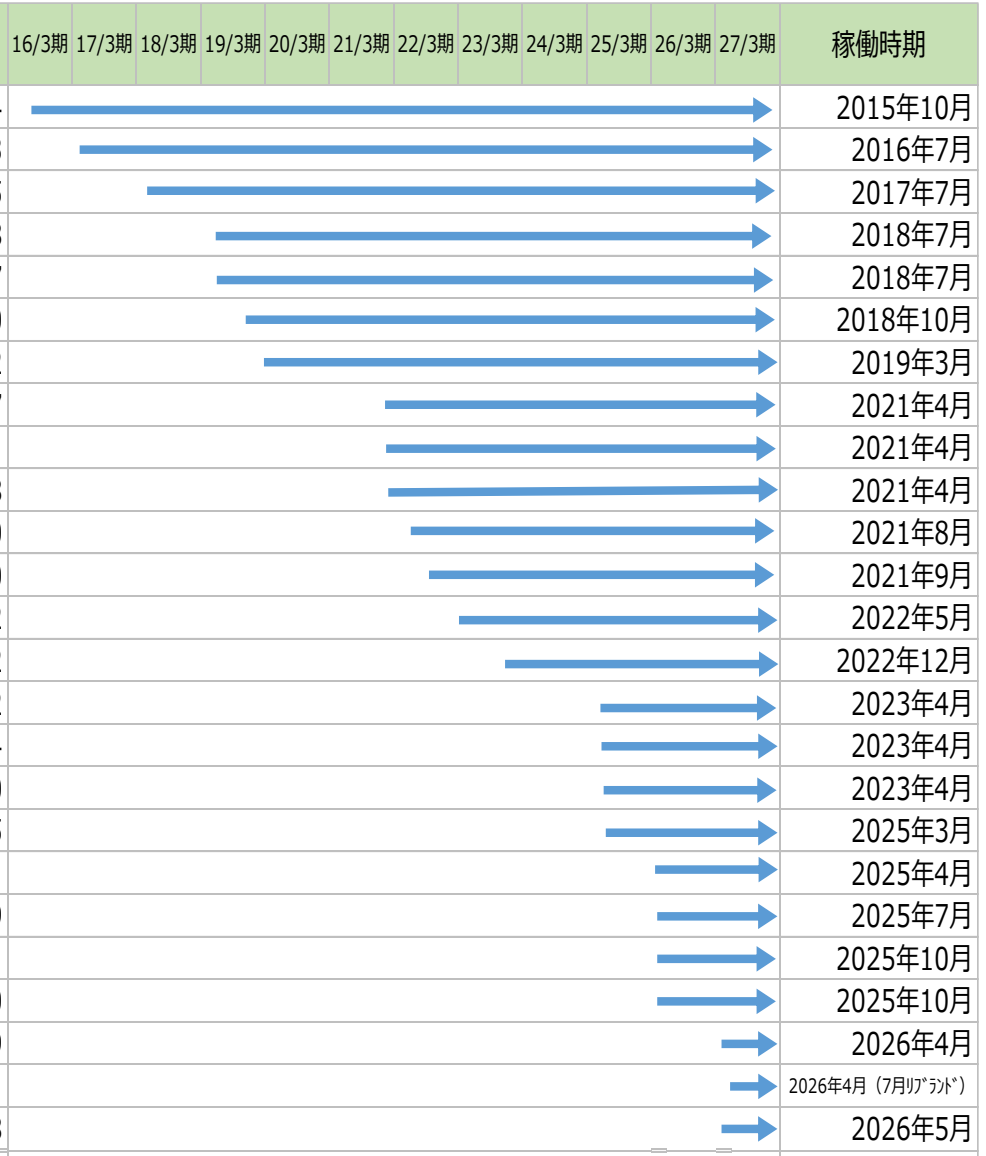
Three：その他の事業　営業利益5億円

中期計画として営業利益250億円の達成を目指す。

6-2. ベルーナグループのホテル一覧

BELLUNA

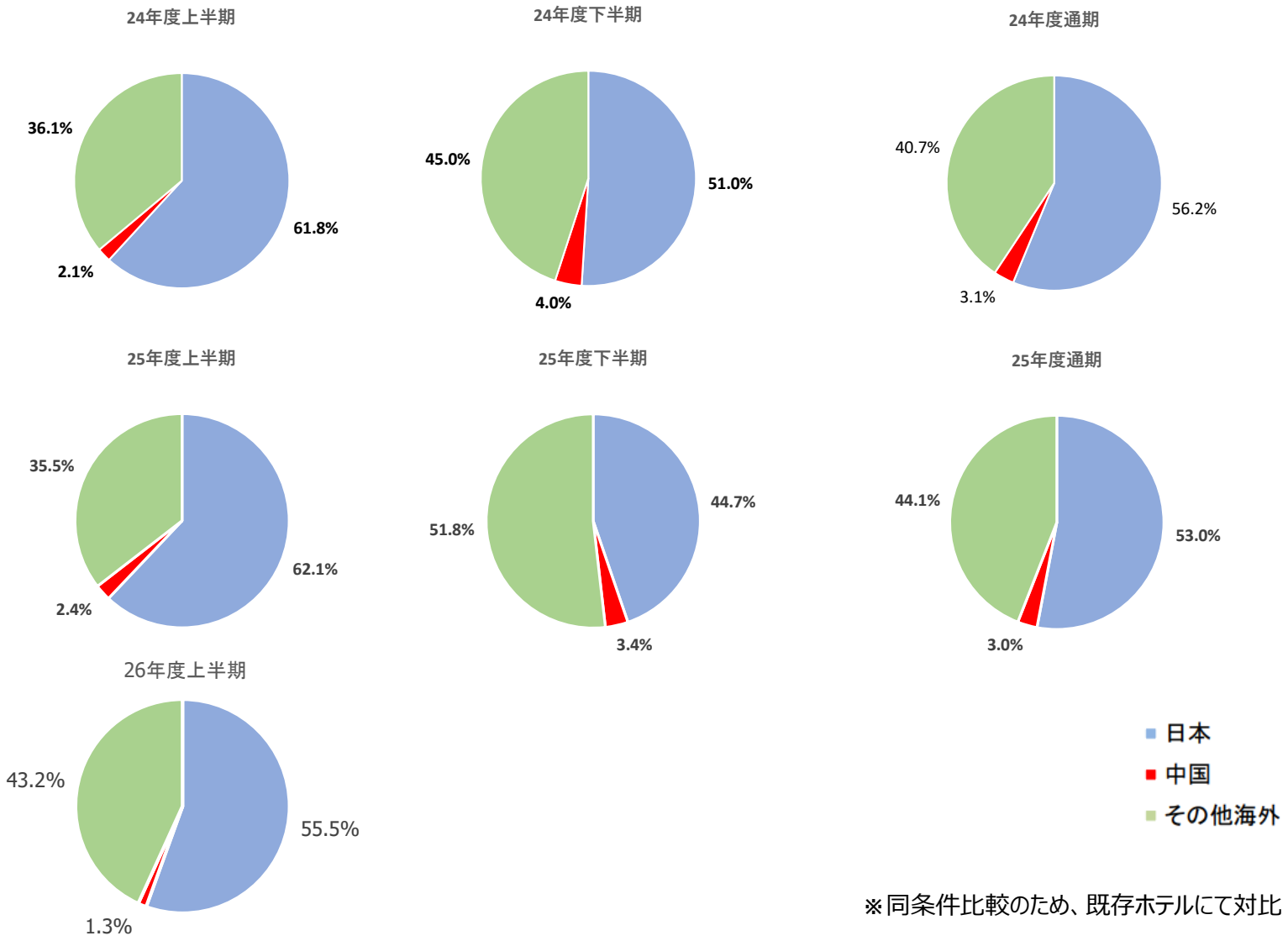
No.	地域	タイプ	施設名	部屋数	稼働時期
1	福島	国内リゾート型	裏磐梯レイクリゾート	324	2015年10月
2	長野	国内リゾート型	ルグラン旧軽井沢ホテル	43	2016年7月
3	京都	国内都市型	京都グランベルホテル	105	2017年7月
4	長野	国内リゾート型	ルグラン軽井沢ホテル&リゾート	58	2018年7月
5	スリランカ	海外	ルグラン・ゴールホテル	57	2018年7月
6	モルディブ	海外	ウェスティン・モルディブ ミリアンドゥーリゾート	70	2018年10月
7	ハワイ	海外	エバ・ホテル・ワイキキ	92	2019年3月
8	大阪	国内都市型	梅田ホリックホテル	117	2021年4月
9	大阪	国内都市型	大阪グランベルホテル	191	2021年4月
10	北海道	国内都市型	札幌グランベルホテル狸小路	218	2021年4月
11	北海道	国内リゾート型	定山渓ビューホテル、エグゼクティブスイート翠嶺	630	2021年8月
12	北海道	国内都市型	すすきのグランベルホテル	300	2021年9月
13	スリランカ	海外	コロンボグランベルホテル	292	2022年5月
14	京都	国内都市型	京都グランベルホテル　hanareya	12	2022年12月
15	東京	国内都市型	銀座ホテル by グランベル	102	2023年4月
16	北海道	国内リゾート型	洞爺サンパレスリゾート&スパ、ザ・レイクスイート湖の栖	404	2023年4月
17	北海道	国内リゾート型	ニュー阿寒ホテル	370	2023年4月
18	北海道	国内都市型	札幌ホテル by グランベル	605	2025年3月
19	北海道	国内都市型	札幌ファンゲートホテル	141	2025年4月
20	北海道	国内都市型	小樽グランベルホテル	159	2025年7月
21	宮城	国内リゾート型	ホテル瑞鳳、櫻離宮	131	2025年10月
22	宮城	国内リゾート型	秋保グランドホテル	140	2025年10月
23	東京	国内都市型	虎ノ門ホリックホテル	49	2026年4月
24	京都	国内都市型	京都ファンゲートホテル	31	2026年4月（7月ﾘﾌﾞﾗﾝﾄﾞ）
25	北海道	国内リゾート型	屈斜路プリンスホテル	208	2026年5月
			計	**4,849**	



6-3.（参考）中国人観光客の渡航動向に関するホテル事業への影響

BELLUNA

上半期の中国人宿泊客の構成比は1.3%（前年同期比-1.1pt）となり、
渡航自粛の注意喚起による宿泊需要減少の影響は変わらず限定的である。



※同条件比較のため、既存ホテルにて対比

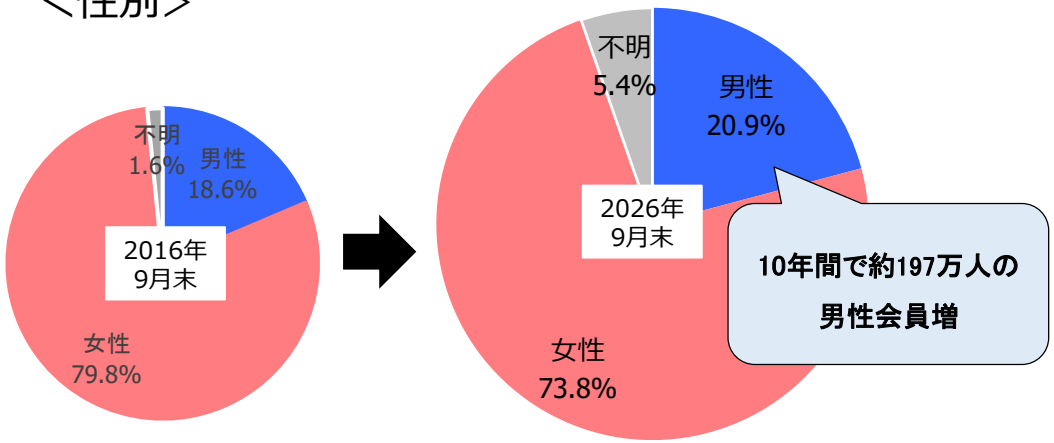
6-4. 総合通販事業　登録会員の特徴

高齢者、地方の買い物困難者の生活インフラとしての役割も担う。

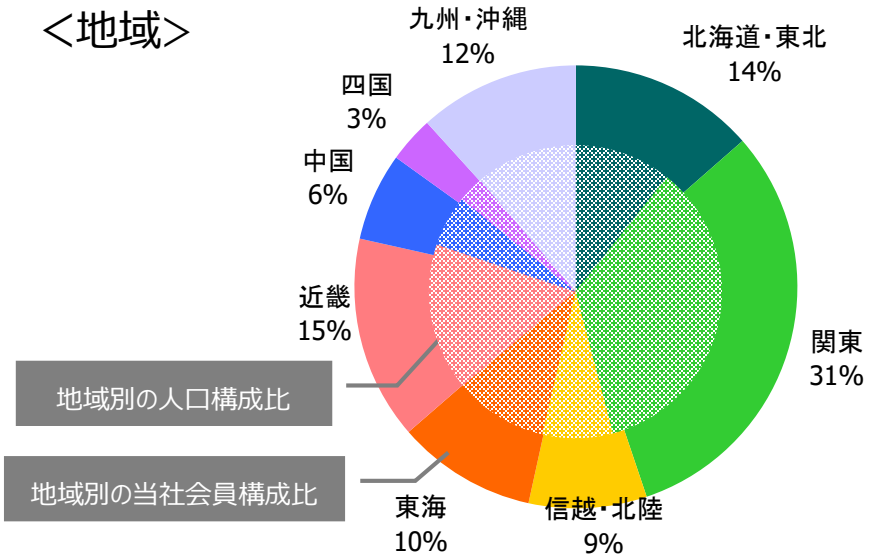
BELLUNA

登録会員の特徴（2026年9月末時点）

＜性別＞

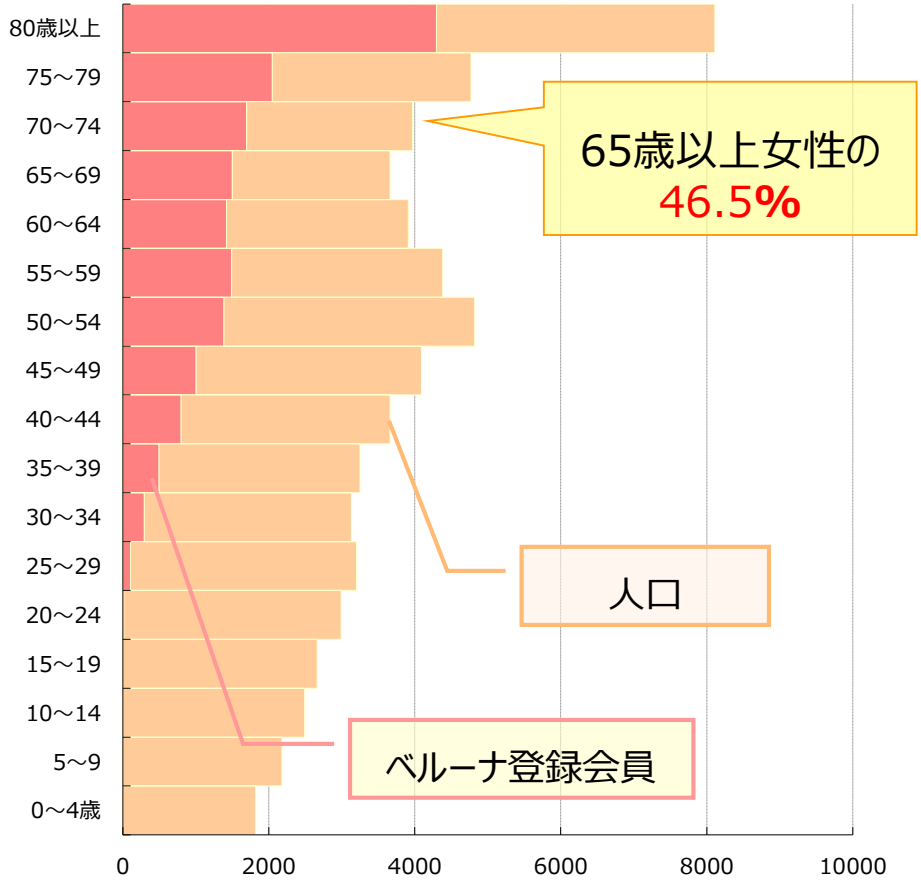


＜地域＞



＜人口ピラミッドとの比較（女性のみ）＞

単位：千人



※総務省統計局ﾃﾞｰﾀを元にﾍﾞﾙｰﾅにて作成

＜本資料に関する注意事項＞

本資料は、2027年3月期中間決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2026年11月26日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

＜IRに関するお問い合わせ先＞

株式会社ベルーナ　経営企画室　IR担当

〒362-8688　埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL　　：048-771-7753　　FAX：048-775-6063

E-mail　：ir-belluna@belluna.co.jp